

「未来へのまなざし-子どもたちはインクルーシブダンスで対話する-」

小学校×NPO法人みんなのダンスフィールド

学校とNPOが協働して、子どもたちの「未来へのまなざし」を育む、新しい学びを一緒に作りあげていきましょう！！



生き生きと表現し、共に創る インクルーシブな新しい学びの世界を・・・

みんなのダンスフィールドは、たくさんの学校でワークショップを行っています。子どもたちは、いろんな人が一緒に動く姿に目を輝かせ、車いすの人の生き生きとした表現に驚き、「一緒にやりたい」「仲間になりたい」と好奇心あふれるまなざしをむけます。

◆でも・・・

「1回だけのワークショップだとイベントで終わっていない？」
「もっと踊りたい、話してみたい・・・そんな気持ちにどうこたえるの？」
「今日の学びを、学校から社会へ、未来へとつなぐにはどうすればいいの？」
そんな疑問が学校からも私たちからもわいてきたのです。

◆そこで・・・

2019年、「未来へのまなざし」プロジェクトをはじめることになりました。このプロジェクトでは、一緒に表現するワークショップを核に、事前・事後学習も含めた一連の流れの中で、子どもたちが、感じたり、考えたり、表現したり、話しあったりしながら、多様な人々とのかかわりが深まり、学びあいがすすむことをめざします。それは、自己が生き生きと表現し、かつ多様な個性を認め合う、未来への学びです。さらに、子どもたちの「今」をアーカイブ化して、もっと先の未来へと届けるのです。

子どもたちの「未来へのまなざし」を力強く育む、
インクルーシブな新しい学びの世界を、
みんなのダンスフィールドと一緒に作りあげていきましょう！！

西 洋子

(NPO法人みんなのダンスフィールド代表・東洋英和女学院大学教授)

実施概要

【対象とする子どもたち】

小学1-6年生
クラスで、学年で、全校で、いずれも可

【実施時間数】

身体表現ワークショップと事前・事後学習をあわせて、授業2-3時間程度

【実施場所】

ワークショップ
体育館または広いスペース
事前・事後学習
教室または体育館

【費用】

無料：学校側の負担はありません

【ワークショップ打ち合わせ】

身体表現ワークショップや授業内容の打ち合わせに、スタッフが学校を訪問し、先生方と話し合いながら進めます。

【ファシリテータなど】

経験豊かなメンバーが、授業やワークショップでファシリテータを担います。また、車いすメンバー(4-5名)を含む多様なメンバーが、子どもたちと一緒に表現し、スピーチやディスカッション、作品づくりを行います。

【アーカイブ制作への協力】

ワークショップや学習の様子を動画や写真で記録します。あわせて、子どもたちの意見や感想等を収集します。教育と研究の学術的目的で、学校・保護者の許可を得られた記録を、アーカイブの一部とする場合があります。



「未来へのまなざし-子どもたちはインクルーシブ・ダンスで対話する-」

小学校×NPO法人みんなのダンスフィールド

学校とNPOが協働して、子どもたちの「未来へのまなざし」を育む、新しい学びを一緒につくりあげていきましょう！！

「未来へのまなざし」活動展開例

子どもたちからは・・・

- ・どんな人たちがいるの
- ・車いすって走れるの
- ・初対面だと固まっちゃうよ
- ・人前で踊るのがって恥ずかしい
- ・風みたいに走るとすごくいい気持ち
- ・先生も一緒に踊ってる！
- ・僕のダンスどうだったか、きいてみたい
- ・今日の楽しさを家族に伝えたい
- ・僕らの表現、学校みんなに見てほしいな



ワークショップ みんなで表現

- ・最初はドキドキ
- ・車いすの人と一緒に動いたよ
- ・いろんな動きがあるんだな
- ・みんなで絵を描いてみたい
- ・あの子ともっと話してみたい
- ・いつのまにか笑顔、笑顔

事後学習

ビデオで
振り返り

みんなの前で
発表会

・授業公開、学習発表会

もっと聞いて、
話してみよう

・質問や感想の討議

ひとつこと
メッセージ

みんなのダンスフィールドからは・・・

- ・車いすの人ってどんなイメージ
- ・みんなはどんなあそびが好きなの
- ・車いすに乗ってみませんか
- ・歌や楽器も一緒に表現したら楽しいね
- ・いろんな表現があるって素敵だね
- ・ワークショップどうだったかな
- ・いろんな人と楽しく話せるようになったね

ダンスフィールドを
紹介する文章・教材

ビデオ視聴

- ・障害っ
- ・パフォーマンス映像

事前学習

自己紹介

ゲーム

- ・車いすののってみよう

NPO法人「みんなのダンスフィールド」
Inclusive Field for Dance since1998

年齢や性別、障害の有無を超えて、一人ひとりの表現を大切にしながら、多様な“あなた”と一緒に、自由で制限の無い表現の世界を育てていく教育活動です。

1998年に6人の子どもからはじまり、現在は約40名が参加しています。この20年間で、多くの小・中学校、特別支援学校、地域の施設でのワークショップと国内外でのパフォーマンスを行い、そこでしか出会えない人・瞬間・表現を大切に活動を続けています。

「未来のまなざし」プロジェクト・スタッフ

【ファシリテータ】

西 洋子 :みんなのダンスフィールド代表
東洋英和女学院大学教授

秋田有希湖:鶴見大学短期大学部准教授

大川日向子:大学生

海老沼寛乃:大学生・車いすユーザ

【スタッフ】

木津石生, 長竹里佳, 芳野笙子, 小野寺絢子

【アドバイザー】

三輪敬之:早稲田大学名誉教授

松室由紀:さいたま市立与野本町小学校教諭

問い合わせ

NPO法人みんなのダンスフィールド

<https://www.inclusive-dance.org/>

担当 大川日向子

E-mail dance.field.staff@gmail.com